

令和4年度和歌山県海岸漂着物組成調査業務  
調査報告書

1. 趣旨

本調査は、環境省海岸漂着物等地域対策推進事業の一環として、和歌山県海岸漂着物対策推進地域計画に基づく重点対策区域である「友ヶ島（沖ノ島）、加太海岸」における海岸漂着物の漂着状況の詳細を明らかにするため実施した。

2. 調査内容

2.1 調査場所

調査は2地点において実施した。1地点は友ヶ島（沖ノ島）における野奈浦海岸西地点（以下、「海の家前」とする）（図1-1）、もう1地点は加太淡嶋神社の北側に位置する海岸（以下、「淡嶋神社北側海岸」とする）（図1-2）である。

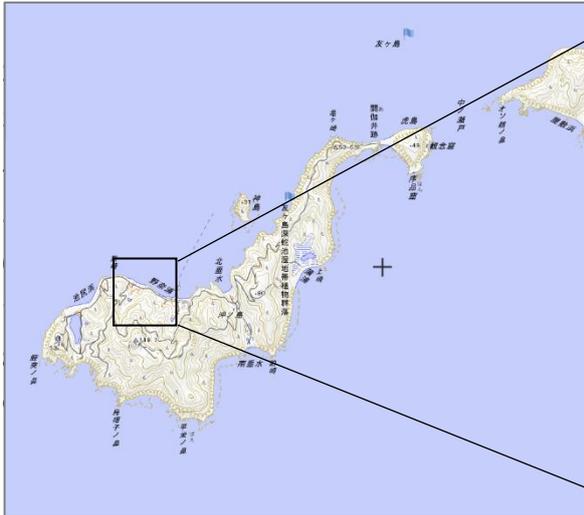


図1-1 友ヶ島（沖ノ島） 野奈浦海岸西地点（海の家前）

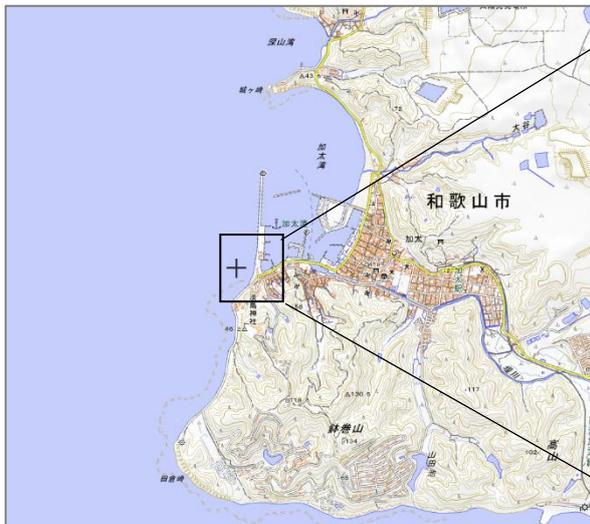


図1-2 淡嶋神社北側海岸

## 2.2 調査概要

調査概要を表 1-1 に示した。第 1 回の淡嶋神社北側海岸での調査は、回収および分類・測定を 10 月 8 日に実施した。第 2 回の海の家前での調査は、現地での回収を 11 月 18 日、分類・測定を 1 月 28 日の 2 日間にて実施した。

表 1-1 調査概要

	日程	調査地点	分類・計測場所
第 1 回調査	1 日目 10 月 8 日 (回収、および分類・測定)	淡嶋神社北側海岸	淡嶋神社北側海岸
第 2 回調査	1 日目 11 月 18 日 (回収) 2 日目 1 月 28 日 (分類・測定)	海の家前	大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス

## 2.3 調査方法

現地調査は環境省の定める「地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン」に記載の方法に従って、2022 年 10 月から 11 月にかけて 2 回実施した。

調査対象地については、上記ガイドラインにおいて「長さ 100m 以上の海岸」であり、「おおむね 1 年間清掃活動が行われていないことを基本とする」と要求されている。また、調査実施の諸条件（海岸へのアプローチ方法やトイレの有無等）が整っている必要がある。

昨年度については、これらの条件を満たす友ヶ島（沖ノ島）池尻浜において調査を実施したが、今年度は池尻浜において工事が実施されており、事前踏査の結果からも調査を実施することが困難であった。そこで和歌山県の担当部局（環境生活部環境政策局循環型社会推進課地域環境推進班）、および友ヶ島の管理者である和歌山市等と事前相談の上、池尻浜の東側に位置し、池尻浜と同じく北向きの海岸である海の家前において調査を実施することとなった。

他方、昨年度も実施している淡嶋神社北側海岸については、これまでと同様、礫浜と消波ブロック部分を合わせた延長が約 100m あったが、調査可能な礫浜の延長だけでは 100m に満たない点など、ガイドライン上の条件を十分に満たさない点があった。しかしながら、友ヶ島（沖ノ島）の対岸に位置し、これと対比可能なデータを得られると想定されたため、和歌山県の担当部局と事前に相談したところ、淡嶋神社北側海岸での実施に支障ないとの回答が得られた。よって、昨年度に引き続き、淡嶋神社北側海岸を 2 地点目の調査地として設定した。

## 2.4 調査人員

調査人員について表 1-2 に示した。第 1 回の調査では合計 24 名、第 2 回目の調査では合計 66 名、延べ 90 名の人員にて調査を実施した。

表 1-2 調査人員

	現場監督	作業責任者	作業員	合計
第 1 回 1 日目	1 名	1 名	22 名	24 名
第 2 回 1 日目	1 名	1 名	35 名	37 名
第 2 回 2 日目	1 名	1 名	27 名	29 名

## 2.5 調査機材

調査の際にはガイドラインに記載の必要物品のほか、これまでの現地調査の経験から必要と判断した機材等を加え、下記を準備した。

- ・ 分類表兼データシート
- ・ 調査人員に配布するための、調査方法や注意事項等の説明文書
- ・ 筆記用具
- ・ ごみを収集するためのスタンドバッグ（ガーデンバッグにて代用）
- ・ 容量の分かるごみ袋
- ・ 容量の分かる 10ℓ バケツ
- ・ 重量を測定するための計量秤（デジタル式の上皿式はかりと吊りばかりの 2 種類）
- ・ 調査範囲を計測するためのメジャー
- ・ カメラ
- ・ 軍手
- ・ 火ばさみ
- ・ 危険物の収納容器
- ・ 救急用具

### 3. 調査結果

#### 3.1 淡嶋神社北側海岸

##### (1) 調査状況

淡嶋神社北側海岸の調査状況を図 2-1 から図 2-4 に示した。



図 2-1 淡嶋神社北側海岸における漂着物の散乱状況（回収前）



図 2-2 漂着物の回収状況



図 2-3 現地での分類・測定状況



図 2-4 回収後の調査地点



② オプション項目データシート

漂着ごみ データシート②

都道府県名: 和歌山県 調査海岸の奥行き(平均): 約12 m  
 実施者: (一社)加太・友ヶ島環境戦略研究会 海岸基質: 砂浜 裸浜 磯浜 その他( )  
 調査海岸: 淡嶋神社北側海岸 調査地点 中心点: N 34.27000 E 135.06000  
 調査実施日: 2022 年 10 月 8 日 ~ 10 月 8 日 ※小数点第5位まで記載(例: N 35.00000, E 135.00000)  
 回収開始時刻: 9 時 30 分 清掃: 3ヶ月以内に実施 1年以内に実施  
 回収終了時刻: 14 時 30 分 台風・豪雨: 1ヶ月以内 3ヶ月以内  
 回収作業人数: 24 人 重機の使用: 無 有 (バックホウ 台、ユニック 台 その他( ))  
 奥行き方向の回収範囲: 全範囲 一部範囲 ( m)  
 河口付近:  島嶼地域:

大分類	必須項目	オプション項目	個数	容積(L) ※	重量(kg) ※	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	40	1.11	0.17	
	ボトル	飲料用(ペットボトル)<1L	飲料用(ペットボトル)<1L	4	6.30	0.14
		その他のプラボトル<1L	その他のプラボトル<1L	1	0.50	0.02
		飲料用(ペットボトル)≥1L	飲料用(ペットボトル)≥1L	0	0.00	0.00
		その他のプラボトル類≥1L	その他のプラボトル類≥1L	1	3.00	0.10
		ストロー	ストロー	16	0.12	0.03
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	1	0.01	0.01	
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	カップ、食器	カップ、食器	0	0.00	0.00
		食品容器	食品容器	4	0.26	0.02
	ポリ袋(不透明、透明)	食品の容器包装	食品の容器包装	13	5.01	0.08
		レジ袋	レジ袋	0	0.00	0.00
		その他プラスチック袋	その他プラスチック袋	3	7.00	0.07
	ライター	ライター	2	0.06	0.08	
	シリンジ、注射器	シリンジ、注射器	0	0.00	0.00	
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	1	0.10	0.01	
	シートや袋の破片	シートや袋の破片		1.80	0.61	
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片		3.51	1.33	
	ウレタン	ウレタン	0	0.00	0.00	
	浮子(ブイ)(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)	0	0.00	0.00	
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	25	1.50	0.04	
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	0	0.00	0.00	
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	92	0.41	0.07	
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	0	0.00	0.00	
	漁網(漁具)	漁網(漁具)	1	12.00	0.68	
	その他の漁具(漁具)	釣りのルアー・浮き	釣りのルアー・浮き	5	0.06	0.03
		かご漁具	かご漁具	1	0.10	0.03
		釣り糸	釣り糸	0	0.00	0.00
		その他の漁具	その他の漁具	1	0.50	0.03
	その他	たばこ吸殻(フィルター)	たばこ吸殻(フィルター)	22	0.06	0.03
		生活雑貨(歯ブラシ等)	生活雑貨(歯ブラシ等)	17	56.30	0.72
花火		花火	0	0.00	0.00	
玩具		玩具	1	0.10	0.02	
プラスチック梱包材		プラスチック梱包材	0	0.00	0.00	
6バックホルダー		6バックホルダー	0	0.00	0.00	
苗木ポット		苗木ポット	1	0.25	0.01	
分類に無いもので多数見つかった場合には記載(		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(	0	0.00	0.00	
その他		その他	1	0.10	0.01	
(発泡スチロール)		コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)	0	0.00	0.00
		コップ、食器(発泡スチロール)	8	0.01	0.01	
	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	発泡スチロール製フロート・浮子(ブイ)	0	0.00	0.00	
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片		0.30	0.01	
	発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材	0	0.00	0.00	
その他	分類に無いもので多数見つかった場合には記載(	分類に無いもので多数見つかった場合には記載(	0	0.00	0.00	
	その他	その他	0	0.00	0.00	

※ 少なくとも「個数及び容積(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容積(L)・重量(kg)」すべて計測する。

オプション項目データシート (続き)

大分類	必須項目	オプション項目	個数	容積(L) ※	重量(kg) ※
ゴム	ゴム	タイヤ	0	0.00	0.00
		玩具、ボール	0	0.00	0.00
		風船	0	0.00	0.00
		靴(サンダル、靴底含む)	2	4.00	0.37
		ゴムの破片		3.51	0.74
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(	0	0.00	0.00
		その他	0	0.00	0.00
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材	467	29.10	35.39
		食品容器	0	0.00	0.00
		ガラス、陶器の破片		8.70	9.08
		食品以外容器	0	0.00	0.00
		コップ、食器	0	0.00	0.00
		電球	0	0.00	0.00
		蛍光管	0	0.00	0.00
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(	0	0.00	0.00
		その他	1	1.00	0.17
金属	金属	ビンのふた、キャップ、プルタブ	35	0.20	0.05
		アルミの飲料缶	1	0.40	0.01
		スチール製飲料用缶	1	0.40	0.01
		金属製コップ、食器	0	0.00	0.00
		フォーク・ナイフ・スプーン等	0	0.00	0.00
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)	1	0.25	0.04
		金属片		16.20	2.20
		ワイヤー、針金	0	0.00	0.00
		金属製漁具	0	0.00	0.00
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(	0	0.00	0.00
		その他	0	0.00	0.00
紙、ダンボール	紙、ダンボール	紙製コップ、食器	0	0.00	0.00
		タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)	1	0.01	0.01
		花火	0	0.00	0.00
		紙袋	0	0.00	0.00
		食品包装材	0	0.00	0.00
		紙製容器(飲料用紙パック等)	0	0.00	0.00
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)		0.20	0.01
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(	0	0.00	0.00
		その他	0	0.00	0.00
天然繊維、革	天然繊維、革	ロープ、ひも	0	0.00	0.00
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(	0	0.00	0.00
		その他	0	0.00	0.00
木(木材等)	木(木材等)	木材(物流用パレット、木炭等含む)	10	121.00	12.40
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(	0	0.00	0.00
		その他	0	0.00	0.00
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	20	0.60	0.12	
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)		145.10	10.32
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)	4	121.50	11.61
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(	0	0.00	0.00
		その他	0	0.00	0.00
その他	その他	その他1( 燃焼固形物(素材不明) )	3	0.10	0.55
		その他2( )	0	0.00	0.00
		その他3( )	0	0.00	0.00
人力で動かせない物	緯度: 経度:	ごみの種類( )	0	0.00	0.00

※ 少なくとも「個数及び容積(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容積(L)・重量(kg)」すべて計測する。

### (3) 大分類別に見た漂着物の個数、容積、重量とその割合

データシートに記載されている大分類の項目別に、漂着物の個数、容積、重量とその割合を示した結果を図 2-5 から図 2-7 に示した。ただし、個数については、データシート上で個数の計測が求められていない、ゴム、ガラス、陶器、金属、紙、ダンボール、自然物の項目については省略した。

個数についてはガラス、陶器が全体の 58%を占め、次いでプラスチックが多かった。容積については自然物が 48%を占め、次いで木（木材等）、プラスチックが多かった。重量については、ガラス、陶器が 51%を占め、次いで自然物、木（木材等）が多い結果であった。

漂着物の個数と割合

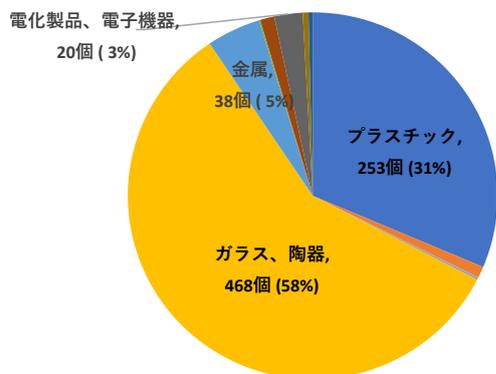


図 2-5 淡嶋神社北側海岸における漂着物の個数と割合（大分類別）

漂着物の容積 (ℓ) と割合

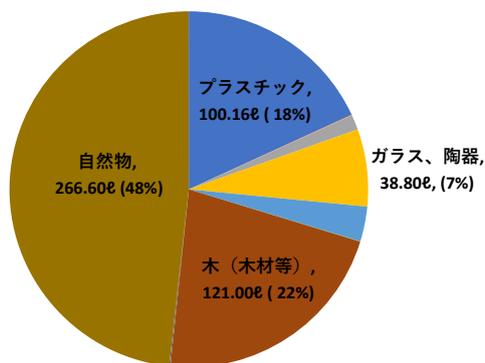


図 2-6 淡嶋神社北側海岸における漂着物の容積と割合（大分類別）

漂着物の重量 (kg) と割合

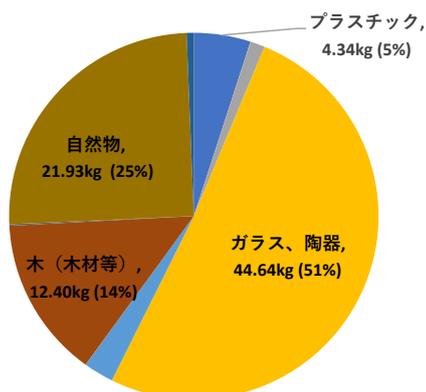


図 2-7 淡嶋神社北側海岸における漂着物の重量と割合（大分類別）

### 3.2 海の家前

#### (1) 調査状況

海の家前の調査状況を図 2-8 から図 2-11 に示した。



図 2-8 海の家前における漂着物の散乱状況（回収前）



図 2-9 漂着物の回収状況



図 2-10 回収後の調査地点



図 2-11 回収した試料の分類・測定状況

(2) データシート

調査結果をまとめたデータシートを下記 P. 12 から P. 14 に示した。

① 必須項目データシート

### 漂着ごみ データシート①

都道府県名: 和歌山県 調査海岸の奥行き(平均): 約13 m

実施者: (一社)加太・友ヶ島環境戦略研究会 海岸基質:  砂浜  礫浜  磯浜  その他( )

調査海岸: 沖ノ島(友ヶ島) 野奈浦海岸西地点(「海の家」前) 調査地点 中心点: N 34.27000 E 135.06000

調査実施日: 2022 年 11 月 18 日 ~ 11 月 18 日 ※小数点第5位まで記載(例: N 35.00000、E 135.00000)

回収開始時刻: 10 時 30 分 清掃:  3ヶ月以内に実施  1年以内に実施

回収終了時刻: 15 時 30 分 台風・豪雨:  1ヶ月以内  3ヶ月以内

回収作業人数: 37 人 重機の使用:  無  有 (バックホウ  台、ユニック  台 その他( ))

奥行き方向の回収範囲:  全範囲  一部範囲 ( m)

河口付近:  島嶼地域:

大分類	必須項目	個数	容積(L) ※1	重量(kg) ※1	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	465	8.59	1.53	
	ボトル	飲料用(ペットボトル)<1L	191	134.60	8.36
		その他のプラボトル<1L	35	19.30	1.24
		飲料用(ペットボトル)≥1L	11	23.80	0.90
		その他のプラボトル類≥1L	5	5.10	0.55
		ストロー	153	4.90	0.14
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	17	0.36	0.07	
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	187	59.40	1.31	
	ポリ袋(不透明、透明)	172	28.22	0.38	
	ライター	37	1.70	0.46	
	シリンジ、注射器	3	0.86	0.09	
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	42	5.51	0.12	
	シートや袋の破片		36.40	1.35	
	硬質プラスチック破片		80.50	4.08	
	ウレタン	73	14.61	0.45	
	浮子(フイ)(漁具)	5	0.26	1.05	
	ロープ・ひも(漁具)	213	41.45	3.21	
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	0	0.00	0.00	
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	46	0.30	0.04	
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	0	0.00	0.00	
漁網(漁具)	0	0.00	0.00		
その他の漁具(漁具)	51	15.51	0.57		
その他	206	321.32	11.19		
(発泡スチロール)	コップ、食品容器	155	31.60	0.26	
	発泡スチロール製フロート、浮子(フイ)	0	0.00	0.00	
	発泡スチロールの破片		56.00	0.88	
	発泡スチロール製包装材	0	0.00	0.00	
その他	3	35.00	0.20		
ゴム ※2	ゴム	51	26.86	6.47	
ガラス、陶器 ※2	ガラス、陶器	47	24.10	18.77	
金属 ※2	金属	53	25.11	2.58	
紙、ダンボール ※2	紙、ダンボール	4	11.21	0.20	
天然繊維、革	天然繊維、革	9	1.15	0.08	
木(木材等)	木(木材等)	454	1449.60	177.37	
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	3	0.31	0.07	
自然物	自然物	2007	6090.22	772.73	
その他	その他	0	0.00	0.00	

※1 少なくとも「個数及び容積(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容積(L)・重量(kg)」すべて計測する。  
 ※2 ゴム、ガラス、陶器、金属、紙、ダンボール、自然物の個数については、破片類や灌木を除く。

② オプション項目データシート

漂着ごみ データシート②

都道府県名: 和歌山県 調査海岸の奥行き(平均): 約13 m  
 実施者: (一社)加太・友ヶ島環境戦略研究会 海岸基質: 砂浜 礫浜 磯浜 その他( )  
 調査海岸: 沖ノ島(友ヶ島) 野奈浦海岸西地点(「海の家」前) 調査地点 中心点: N 34.27000 E 135.06000  
 調査実施日: 2022 年 11 月 18 日 ~ 11 月 18 日 ※小数点第5位まで記載(例: N 35.00000、E 135.00000)  
 回収開始時刻: 10 時 30 分 清掃: 3ヶ月以内に実施 1年以内に実施  
 回収終了時刻: 15 時 30 分 台風・豪雨: 1ヶ月以内 3ヶ月以内  
 回収作業人数: 37 人 重機の使用: 無 有 (バックホウ 台、ユニック 台 その他( ))  
 奥行き方向の回収範囲: 全範囲 一部範囲 ( m)  
 河口付近:  島嶼地域:

大分類	必須項目	オプション項目	個数	容積(L) ※	重量(kg) ※	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた	ボトルのキャップ、ふた	465	8.59	1.53	
	ボトル	飲料用(ペットボトル)<1L	飲料用(ペットボトル)<1L	191	134.60	8.36
		その他のプラスチック<1L	その他のプラスチック<1L	35	19.30	1.24
		飲料用(ペットボトル)≥1L	飲料用(ペットボトル)≥1L	11	23.80	0.90
		その他のプラスチック類≥1L	その他のプラスチック類≥1L	5	5.10	0.55
		ストロー	ストロー	153	4.90	0.14
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等	17	0.36	0.07	
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)	カップ、食器	カップ、食器	54	26.80	0.57
		食品容器	食品容器	133	32.60	0.74
	ポリ袋(不透明、透明)	食品の容器包装	食品の容器包装	137	20.11	0.26
		レジ袋	レジ袋	1	0.01	0.01
		その他のプラスチック袋	その他のプラスチック袋	34	8.10	0.11
	ライター	ライター	37	1.70	0.46	
	シリンジ、注射器	シリンジ、注射器	3	0.86	0.09	
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)	42	5.51	0.12	
	シートや袋の破片	シートや袋の破片		36.40	1.35	
	硬質プラスチック破片	硬質プラスチック破片		80.50	4.08	
	ウレタン	ウレタン	73	14.61	0.45	
	浮子(ブイ)(漁具)	浮子(ブイ)(漁具)	5	0.26	1.05	
	ロープ、ひも(漁具)	ロープ、ひも(漁具)	213	41.45	3.21	
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)	0	0.00	0.00	
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)	46	0.30	0.04	
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)	0	0.00	0.00	
	漁網(漁具)	漁網(漁具)	0	0.00	0.00	
	その他の漁具(漁具)	釣りのルアー・浮き	釣りのルアー・浮き	27	2.90	0.33
		かご漁具	かご漁具	3	0.30	0.03
		釣り糸	釣り糸	3	0.30	0.02
		その他の漁具	その他の漁具	18	12.01	0.19
	その他	たばこ吸殻(フィルター)	たばこ吸殻(フィルター)	0	0.00	0.00
		生活雑貨(歯ブラシ等)	生活雑貨(歯ブラシ等)	88	16.70	1.57
		花火	花火	0	0.00	0.00
		玩具	玩具	10	2.81	0.34
プラスチック梱包材		プラスチック梱包材	7	1.20	0.02	
6バックホルダー		6バックホルダー	0	0.00	0.00	
苗木ポット		苗木ポット	12	3.10	0.08	
分類に無いもので多数見つかった場合には記載(薬・薬容器、硬質プラの残骸)		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(薬・薬容器、硬質プラの残骸)	71	273.82	6.38	
その他		その他	18	23.69	2.80	
その他		その他	3	35.00	0.20	
(発泡スチロール)	コップ、食品容器	食品容器(発泡スチロール)	132	16.50	0.14	
		コップ、食器(発泡スチロール)	23	15.10	0.12	
	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)	発泡スチロール製フロート・浮子(ブイ)	0	0.00	0.00	
	発泡スチロールの破片	発泡スチロールの破片		56.00	0.88	
	発泡スチロール製包装材	発泡スチロール製包装材	0	0.00	0.00	
その他	分類に無いもので多数見つかった場合には記載( )	0	0.00	0.00		
その他	その他	3	35.00	0.20		

※ 少なくとも「個数及び容積(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容積(L)・重量(kg)」すべて計測する。

オプション項目データシート (続き)

大分類	必須項目	オプション項目	個数	容積(L) ※	重量(kg) ※
ゴム	ゴム	タイヤ	0	0.00	0.00
		玩具、ボール	34	15.40	4.58
		風船	0	0.00	0.00
		靴(サンダル、靴底含む)	17	10.81	1.80
		ゴムの破片		0.65	0.09
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(	0	0.00	0.00
		その他	0	0.00	0.00
ガラス、陶器	ガラス、陶器	建築資材	31	17.70	16.84
		食品容器	0	0.00	0.00
		ガラス、陶器の破片		1.00	0.44
		食品以外容器	14	2.40	1.32
		コップ、食器	0	0.00	0.00
		電球	0	0.00	0.00
		蛍光管	0	0.00	0.00
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(	0	0.00	0.00
		その他	2	3.00	0.17
		ビンのみ、キャップ、プルタブ	6	0.61	0.14
金属	金属	アルミの飲料缶	39	17.40	1.12
		スチール製飲料用缶	2	0.50	0.09
		金属製コップ、食器	0	0.00	0.00
		フォーク・ナイフ・スプーン等	0	0.00	0.00
		その他の缶(ガスボンベ、ドラム缶、バケツ等)	6	3.90	0.71
		金属片		2.70	0.52
		ワイヤー、針金	0	0.00	0.00
		金属製漁具	0	0.00	0.00
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(	0	0.00	0.00
		その他	0	0.00	0.00
		紙製コップ、食器	1	0.10	0.01
紙、ダンボール	紙、ダンボール	タバコのパッケージ(フィルム、銀紙を含む)	0	0.00	0.00
		花火	0	0.00	0.00
		紙袋	0	0.00	0.00
		食品包装材	0	0.00	0.00
		紙製容器(飲料用紙パック等)	3	1.50	0.09
		紙片(段ボール、新聞紙等を含む)		9.61	0.10
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(	0	0.00	0.00
		その他	0	0.00	0.00
		ロープ、ひも	0	0.00	0.00
天然繊維、革	天然繊維、革	分類に無いもので多数見つかった場合には記載(	0	0.00	0.00
		その他	9	1.15	0.08
		木材(物流用パレット、木炭等含む)	454	1449.60	177.37
木(木材等)	木(木材等)	分類に無いもので多数見つかった場合には記載(	0	0.00	0.00
		その他	0	0.00	0.00
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	電化製品、電子機器	3	0.31	0.07
自然物	自然物	灌木(植物片を含む、径10cm未満、長さ1m未満)		2384.22	379.46
		流木(径10cm以上、長さ1m以上)	2007	3706.00	393.27
		分類に無いもので多数見つかった場合には記載(	0	0.00	0.00
		その他	0	0.00	0.00
その他	その他	その他1( )	0	0.00	0.00
		その他2( )	0	0.00	0.00
		その他3( )	0	0.00	0.00
人力で動かせない物	緯度: 経度:	ごみの種類( )	0	0.00	0.00

※ 少なくとも「個数及び容積(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容積(L)・重量(kg)」すべて計測する。

### (3) 大分類別に見た漂着物の個数、容積、重量とその割合

データシートに記載されている大分類の項目別に、漂着物の個数、容積、重量とその割合を示した結果を図 2-12 から図 2-14 に示した。ただし、個数については、データシート上で個数の計測が求められていない、ゴム、ガラス、陶器、金属、紙、ダンボール、自然物の項目については省略した。

個数については自然物が全体の 43% を占め、次いでプラスチックが多かった。容積については自然物が 71% を占め、次いで木（木材等）が多かった。重量については、自然物が 76% を占め、次いで木（木材等）が多い結果であった。

漂着物の個数と割合

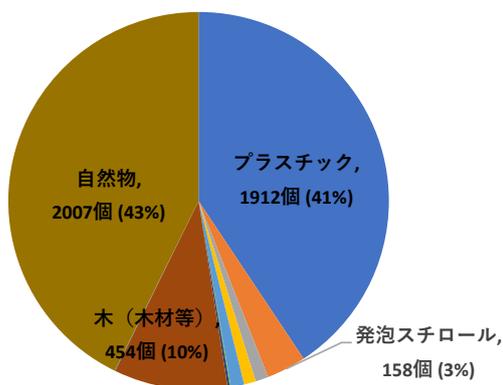


図 2-12 海の家前における漂着物の個数と割合（大分類別）

漂着物の容積(e)と割合

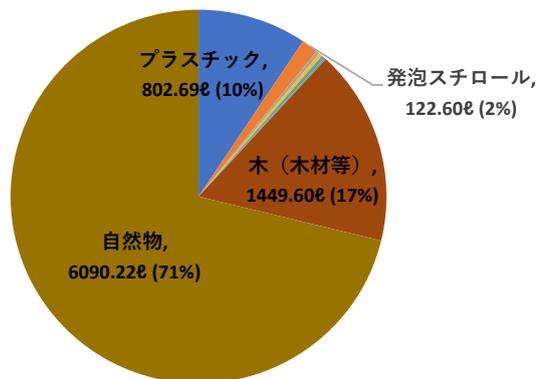


図 2-13 海の家前における漂着物の容積と割合（大分類別）

漂着物の重量(kg)と割合

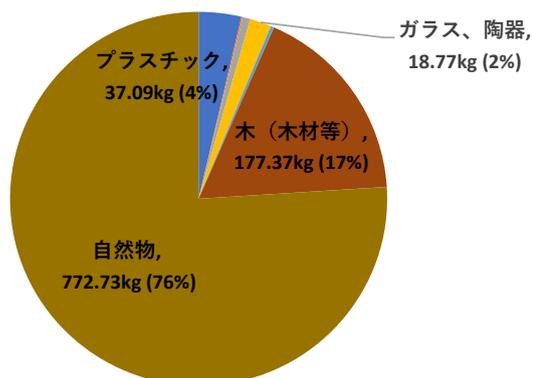


図 2-14 海の家前における漂着物の重量と割合（大分類別）

### 3.3 淡嶋神社北側海岸と海の家前の比較

調査対象地 2 地点における漂着物の総個数、総容積、総重量を図 2-15 に示した。個数、容積、重量はいずれも海の家前の方が淡嶋神社北側海岸よりも値が高く、個数が 5.8 倍、容積が 15.5 倍、重量が 11.6 倍の差があった。これは、海岸の奥行の違いによる漂着物の回収範囲の違いや、地理的・地形的要因による漂着物の溜まりやすさの違い等の要因が影響していると推察された。

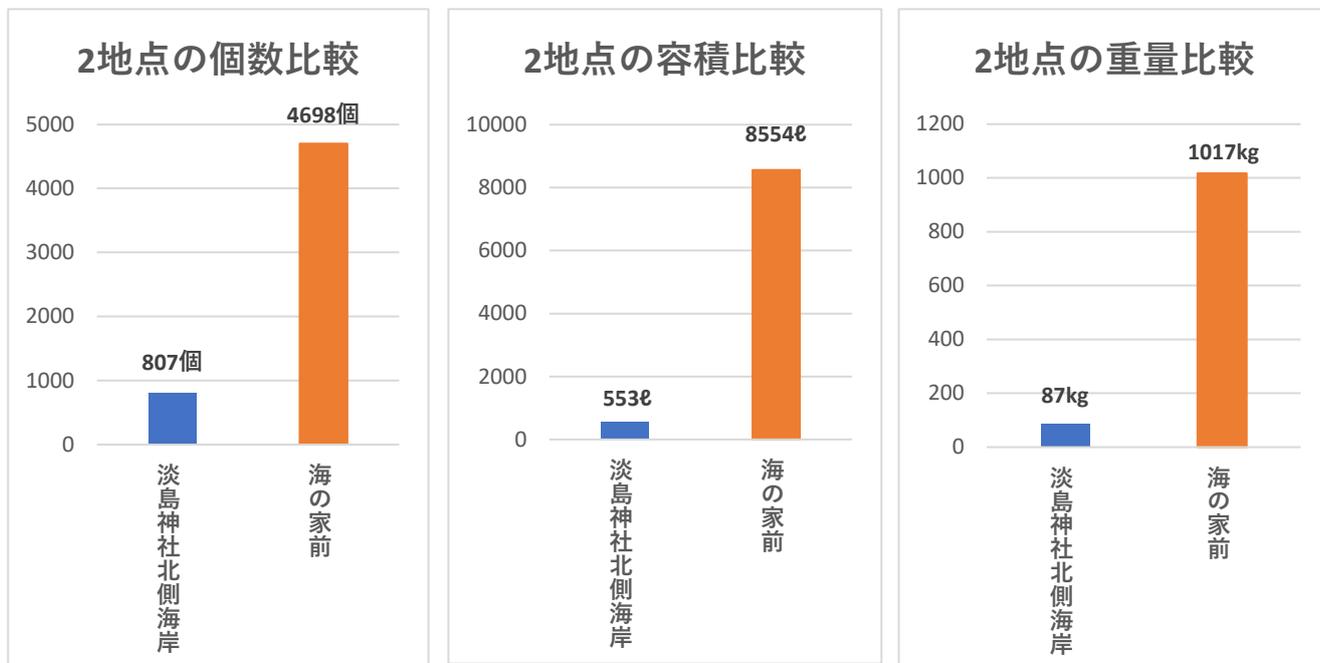


図 2-15 調査対象地 2 地点における漂着物の総個数、総容積、総重量の比較

### 3.4 調査結果のまとめ

- ・ 淡嶋神社北側海岸では個数 807 個、容積 552.74ℓ、重量 87.43kg の海岸漂着物が回収された。データシートの大分類別にみると、個数と重量については「ガラス、陶器」、容積については「自然物」の占める割合が高かった。なお、個数と重量については、大分類「ガラス、陶器」の内訳をみるとオプション項目「建築資材」の占める割合が高かった。
- ・ 海の家前では個数 4,698 個、容積 8553.85ℓ、重量 1016.70kg の海岸漂着物が回収された。データシートの大分類別にみると、個数・容積・重量とも「自然物」の占める割合が高かった。「自然物」を除くと、個数では「プラスチック」、容積・重量では「木（木材等）」の占める割合が高かった。
- ・ 淡嶋神社北側海岸と海の家前を比較してみると、個数・容積・重量ともに海の家前の方が多かった。これは、海岸の奥行の違いによる漂着物の回収範囲の違いや、地理的・地形的要因による漂着物の溜まりやすさの違い等の要因が影響していると推察された。